

# 平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(1年目)案件:2008年2月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	<p><b>宮城県商工会連合会(NARUKOブランドプロジェクト)</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>＜担当者のコメント＞</p>
2.	<p><b>梁川町商工会 (JKB ジャパンニットブランドプロジェクト)</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>＜担当者のコメント＞</p>
3.	<p><b>足利商工会議所 (“足利幕府”プロジェクト)</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>○2月14日(木)「大茶会」プロジェクト実行委員会開催。2月23日、24日に開催される1年間の成果発表会(展示会)の内容を説明。内容は、添付のチラシ参照。</p> <p>○2月23日と24日の2日間、友愛会館において、地場産業の繊維やアルミを使った自由な発想の製品を紹介する「足利幕府・大茶会」が開催され、福田栃木県知事、吉谷市長ら約1700人が来場し、大変な賑わいをみせた。</p> <p>この「大茶会」は、足利商工会議所の本年度事業である「JAPANブランド」として商品開発に取り組んできた市内の繊維関連企業とアルミ関連企業が自由奔放な風情を持つ「婆娑羅(ばさら)」文化をイメージした斬新な製品を披露するためにひらかれたイベント。</p> <p>特に注目を集めたのは、アルミで造られた茶道具の数々。水指や茶碗をはじめ棗や茶勺までアルミでできている。茶道とアルミの組み合わせには誰もが意表を衝かれる思いだが、そこには匠の手ざりで施された見事なまでの細工が見られた。</p> <p>一方、繊維のコーナーは淡い藤色の花が咲いたようで、足利フラワーパーク「藤」の花を使い、草染にしたもので、シルクのショール、ゴブラン織りの帯やバッグなどが華やかに展示されていた。</p> <p>会場では足利のイメージアップに活躍する「おり姫ファッション大使」が、着物や帯、巻きスカートなどの試作品を着用。また一世を風靡した足利銘仙の展示コーナーもあり、そのパターンを使った現代的なレプリカも紹介された。</p> <p>そしてさらに話題を集めたのが、アルミ製のランチョンマットと箸置き、行灯。国際ファッションデザイナーのコシノジュンコさんのデザインで市内のメーカーが製作、ワシントンで開かれた日本をPRするイベント「ジャパンフェスティバル」のディナーパーティーで使用されたという。</p> <p>本フェスティバルは、日本の古代からの伝統に現代感覚と技術革新が組み合わせられて生まれた新しいカルチャー(ハイパーカルチャー)を紹介するもの。</p> <p>また、24日には、「小堀遠州の茶の湯」をテーマとした茶の湯講演会が、国立民族学博物館名誉教授の熊倉功夫先生を講師に向かえ約150の方が真剣にメモを取りながら聞き入っていた。</p>
4.	<p><b>糸魚川商工会議所 (日本唯一・糸魚川ヒスイブランド確立事業)</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>2/13 14:00～17:00 会議所役員室</p> <p><b>第16回委員会開催</b></p> <p>出席 委員 早津邦彦 永江善昭 土田孝雄 陶山麻美          業者委員 龍見雄記 伊藤加奈子 岩崎笑美子          協力業者 中村幸子 豊島泰彦 山岸清司 野本宏一 佐藤秀雄</p>

事務局 山田和夫 伊藤一久 山岸清末 吉倉正紀  
講師 (有)ともえ産業情報 辻井啓介 野沢夏子

- ・糸魚川ヒスイに関するヨーロッパ市場可能性調査について  
講師 (有)ともえ産業情報 辻井啓介氏  
欧米でのヒスイの歴史 伝承 イメージ 欧米での産地  
ヨーロッパでの宝石アクセサリーの嗜好性  
糸魚川翡翠のヨーロッパでの可能性  
その他
- ・平成 20 年度の糸魚川翡翠ブランド化事業の計画  
地元 国内 海外(中国)で展示会参加  
PR イベント開催 協力  
デザイン改良 試作品の製作

#### 5. 甲府商工会議所 (ジュエリー産地山梨・産地ブランド「koo-fu」プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

第 10 回ディレクション会議の開催

- 1.日時 平成 20 年 2 月 28 日(木)午後 3 時半～
- 2.場所 アピオ本館3階クリスタル
- 3.内容 「Koo-fu プロジェクト」について

KooFu コレクション 2008 発表会

プレス向け

- 1.日 時 平成 20 年 2 月 25 日(月)午前 11 時～午後 5 時
- 2.場 所 レストラン セラン 東京都港区北青山 2-1-19
- 3.内 容 15 名のデザイナーと 4 名の技術者がワークショップで製作を手がけてきた「KooFu コレクション 2008」のプレス向け発表会を開催した。

サポーター向け

- 1.日 時 平成 20 年 2 月 28 日(木)午後 1 時～午後 5 時
- 2.場 所 アピオ甲府 2 階 栄の間
- 3.内 容 本プロジェクトの業界向けの発表会を開催した。

KooFu コレクション 2008

h <http://www.koo-fu.com/collection08/index.html>

#### 6. 静岡商工会議所 (静岡家具ブランド推進プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

◆第7回ワーキング委員会(2月12日開催)

・開発デザインコンセプトの提示

新たに照明器具、イス、テーブル等 10 点の開発デザインコンセプトが提示され、  
試作品製作メーカーを決定した。

・デザイナーによる試作品チェック・指導

参画事業者である(株)起立木工藤枝工場に各メーカーから現在製作している試作品を持ち寄り、  
セルジオ・カラトロニ氏から試作品に対するチェックと改善指導が行われた。

◆第3回委員会開催(2月22日開催)

・メゾン・エ・オブジェ(パリ)国際見本市の事前調査およびヨーロッパ市場の現状調査の報告  
調査者として現地踏査した甲賀コーディネーターおよび DCS CORP. 松岡営業開発部長、

	<p>(株)エムケーマエダ家具 鈴木氏からパワーポイントを使いながら、メゾン・エ・オブジェ(パリ)国際見本市、ムーブルパリ国際家具見本市等を調査した結果報告があった。特に、JAPANブランド育成支援事業において日本から出展しているいくつかのプロジェクトの状況を踏まえ、次年度の展覧を目指すにあたってのポイントについて説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降の事業の方向性について</li> </ul> <p>本プロジェクトにおける本年度以降3カ年のアクションプランについて、再確認を行った。また、平成21年1月にメゾン・エ・オブジェ(パリ)国際見本市に出展するためのスケジュールについて確認した。1年後といっても出展締め切りが毎年6月末(JETRO 窓口での申込み)であり、それまでに試作品製作や出展に関するさまざま事項についての検討が必要であること等の説明も行った。</p>
7.	<p><b>豊橋商工会議所</b>  <b>(『三河つくだ煮』ブランディング事業—MIKAWA TSUKUDANI COLLECTION—)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <p>2月5日(火) 第11回三河つくだ煮ブランディング推進委員会 開催  2月13日(水) 第12回            "  2月21日(木) 第13回            "</p> <p>上記委員会において下記内容について確認、検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● PR用ツール(パンフレット等)の最終調整、完成</li> <li>● DVD、ホームページ完成</li> <li>● JAPANブランド、19年度報告書の作成</li> <li>● 国内展示会「FOODEX JAPAN 2008」(3月11日～)出展準備</li> </ul>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p> <p>各種PR用ツールが完成し、それを初めて活用する場である「FOODEX JAPAN」の準備がほぼ完了しつつあり、3月初旬に最終確認を行い、展示会に臨む予定です。「三河つくだ煮」としてデビューとなる展示会であり、どのような反響が得られるか楽しみでもある。これが終わって、19年度事業の完了となる。</p>
8.	<p><b>瀬戸商工会議所 (『瀬戸・究極のせとものプロジェクト』ブランド確立推進事業)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p>
	<p>&lt;担当者のコメント&gt;</p>
9.	<p><b>蒲郡商工会議所 (三河繊維製品のブランド確立プロジェクト)</b></p>
	<p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H20. 2.12 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)事業遂行打合せ。(於:東京) JAPANブランド育成支援事業の海外展示会視察セミナー報告書の準備・スライド作成。視察報告会の内容項目の検討および資料の作成。製作生地検討会のミーティング。事業報告書のミーティング。</li> <li>・H20. 2.15 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)事業遂行打合せ。(於:東京) 伊奈副会頭・専門家メンバー3名によるリサーチ&amp;ミーティング。於:代官山ヒルサイドテラス JAPANブランド京都商工会議所「KYOTO PREMIUM 2008」・O・R・C COLLECTION 2008 大阪繊維リソースセンター のリサーチ。JAPANブランド育成支援事業の事業報告書の内容項目の検討。試作商品の検討。次年度事業内容について打合せ。</li> <li>・H20. 2.27 メゾン・エ・オブジェ展・ハイムテキスタイル展視察報告会 参加者24名。メゾン・エ・オブジェ展視察報告 大場麻美氏 テキスタイルの素材、スタイル、加工、カラー等の分析と傾向について説明。ハイムテキスタイル展視察報告 杉山哲三氏 トレンドの説明。(於:蒲郡商工会議所 コンベンションホールB)</li> </ul>

	<p>・H20. 2.28 製作生地の完成検討会 参加者11名。 デザイン性、素材風合い、色彩構成、加工仕上がり等を検討ミーティング。製作生地の撮影。 (於:蒲郡商工会議所 201会議室)</p>
10.	<p><b>大野商工会議所・勝山商工会議所 (『醗酵によるまちづくりを目指して』)</b></p> <p>&lt;今月の事業実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・醗酵まつりの実施報告と次回開催に向けて反省や改善点について意見交換を行う。</li> <li>・業者から提案されたロゴマークを検討を行い、方向性を決定する。</li> <li>・決算見込みについて報告と説明を行う</li> </ul>
11.	<p><b>鯖江商工会議所 (本質的本格的な漆の伝統工芸品「REAL JAPAN ブランド」の展開)</b></p> <p>&lt;今月の事業実施状況&gt; 展示会後の打合せ及び事業総括打合せを実施。</p> <p>&lt;担当者のコメント&gt; 今月は、事業の総括及び経費証ひょう書類の整理等を行った。 本年度を総括すると、福井、輪島、京都等など一流の職人が連携し、技術の粋を凝縮した試作品の製作、及び自主展示会の開催が主事業だった。もともとは、漆器という名のもとに漆器風の製品が氾濫、さらに安価な輸入品との競合激化など産業的側面から捉えた伝統工芸品の危惧感から本プロジェクトが動き出したことを踏まえると、ブランド展開の第一段階は到達できたのではないかと思う。今後は、さらにターゲット層に対して効果的にPRし、商流を築き上げていくことが課題となる。また、「REAL JAPAN」ブランドの高い技術力を背景にしたプレミアムライン、売れる商品ラインの製作、販売を通して地域地場産業の牽引となり、地域に還元していく展開が次年度以降の課題ではないかと考える。</p>
12.	<p><b>鳥取商工会連合会 (INABA(因幡)ブランド新商品開発プロジェクト)</b></p> <p>&lt;今月の事業実施状況&gt; 2月19日(火)に第12回JAPANブランド参画事業者会議を開催。 1月17日(木)から29日(火)までリビングデザインセンターOZONE(東京都新宿区)で開催した「INABA “SHIKIRI”展」来場者アンケート結果に基づき、試作品を改良する。 完成度、評価の高いアイテムは、3月中に完成させ、6月のインテリアライフスタイル展に「INABAブランドシリーズ」として出展する。</p> <p>&lt;担当者のコメント&gt;</p>
13.	<p><b>内子町商工会・五十崎支所 (Ja Gue Na(ジャゲナ)「和紙を使った生活空間の提案」)</b></p> <p>&lt;今月の事業実施状況&gt; ◆2月5日(火)～8日(金) JAPANブランドエキジビション in 東京ギフトショー2008 出品:紙縋り和紙タペストリー・紙縋り和紙照明用キューブ・額(紙縋り和紙ほか)・アトリーフ(壁掛けタイプ・スタンドタイプ)・和紙アクセサリー 全国連主催、JAPANブランドエキジビションin東京ギフトショー2008に出展 4日間、多くの人(バイヤー、メーカー他)が立ち寄り、説明を求められたり、取引の申し入れもあった。 補助事業の試作段階であり、販売など直接取引に至る交渉はできなかったが、中小企業基盤整備機構主催のアンテナショップの出展依頼や、首都圏のデパートでの展示について話が進むなど、新しい展開に向けてのステップとなった。 委員が交代で会場に詰め、各自が拾った意見等を集約し、次年度の事業推進のための資料とする。</p> <p>当会のコーナーだけでなく、他のJAPANブランド事業の出展は、今後の事業展開のために大変勉強になり、外のブースもプレゼンテーションの仕方など、大いに参考になった。 今回のように、ギフトショーの中に、JAPANブランド事業のコーナーを全国連で大きくとって</p>



いただき、そこへ出展できたことは、非常によかった。単独での出展では、労力ばかりかかり、逆に成果はここまで得られなかったと思う。

◆ 2月21日（木）第2回プロジェクト実施委員会  
事業報告及び事業成果報告書の検討・今後の展開について検討

◆ 2月29日（金）～ デザイン活用フェア出展（高松）  
出品：紙漉り和紙タペストリー・紙漉り和紙照明用キューブ・アートリーフ（スタンドタイプ）・和紙アクセサリー



<担当者のコメント>

1年度も無事終了し、成果報告書にまとめることができた。

今年度は、パリをはじめ、国内でも試作品の出展をする機会が何度かあり、今後の展開の参考となる貴重な情報や意見を収集できた。

次年度に向けて、ネットワークも広がりを見せ、新しい体制もできつつある。

今後は、和紙を介して事業を展開し、地域に新しい産業を興すことで、国内外へ内子町の五十崎和紙を発信していき、商工会も成長させていきたい。

14. 香美市商工会（土佐打刃物 JAPANブランドプロジェクト）

<今月の事業実施状況>

<担当者のコメント>

15. 大木町商工会（国産い草を使った花ござブランド創生プロジェクト）

<今月の事業実施状況>

JAPANブランド専門部会個別巡回打合会を、清須美先生、山野・市川先生出席のもと、2月1日（金）に開催し、当初は4社を巡回訪問する予定であったが、急きょ1社（株トーション）が都合により、次回に延期と言うことになり、大木町商工会において、AM10:00より約1時間程度、JB20年度の計画・予算等について打合せをした。

続いて、3社の巡回時間の通り実施した。

3社を個別訪問し、商品ブランドイメージ（商品開発）を各事業場と協議、検討し、自社の強み（特徴）の商品を基本として、今後の商品開発のイメージ作りに役立てる方向づけを指導し、模索した。

JAPANブランド策定実行委員会（第2回）を2月27日（水）に開催し、佐々木実行委員長より、「清須美先生専門家の先生、実行委員の皆様に対し、このJB事業のお礼」を述べた。

<協議事項>

議長に佐々木委員長より議事は進行し、協議に入り、

（1）19年度JB事業報告書（案）の審議について

事業報告書（案）を愛智より、原案を詳細に亘り説明する。

又、清須美副委員長より、本年4社の事業場を個別巡回し、4社の個別戦略コンセプト等について、

及び首都圏ブランドターゲット調査結果報告を踏まえての各企業の今後の対応等に

についても、盛り込んでいる。

それと、ブランド戦略上、必要であるネーミング・ロゴマークを決定したので、盛り込んでいる。

JAPANブランド事業運営委員会（第3回）を2月27日（水）に開催し、池上運営委員長（大木町商工会長）より、「清須美先生専門家の先生、運営委員の皆様に対し、このJB事業のお礼」を述べた。

#### < 協議事項 >

議長に池上委員長より議事は進行し、協議に入り、

##### （1）19年度JB事業報告書（案）の審議について

事業報告書（案）を愛智より、原案を詳細に亘り説明する。

（川尻福岡県商業・地域経済課補佐）中、長期の事業計画が見えてこないが、どの様になっているのか。（清須美副委員長）中、長期の事業計画を参加事業者と打合せながら、綿密に策定して行きたいと思っている。（多田久留米商工事務所長）予算以上の評価が出ているのか！ それには、評価以上の評価が必要である。（清須美副委員長）予算以上の評価は出ていると思うが、ブランドは、なかなか評価が難しい点（人によって、価値観が違うので）が多くあると思う。

（長谷部県化学繊維研究所長）ブランドイメージがわからない！ 差別化のイメージがわからない。

（佐々木委員長）い草は、ブランドイメージが難しい商品であり、それおいかにイメージを沸かせるかが、今後の大きな課題であると思う。

（清須美副委員長）今後、差別化をいかに、イメージアップしていくことが、重要であり、この事業で取組む大きなテーマである。

#### < 担当者のコメント >